

ANMC21 研修実施報告書

1 研修名	洪水・高潮・津波対策研修
2 目的	洪水・高潮・津波対策に関する講義や現場視察、参加者間での情報交換を通じ、各都市において対策構築に取り組むことができる人材を育成する。
3 担当局	東京都知事本局
4 実施日	平成 25 年 1 月 22 日（火）～25 日（金）
5 参加都市・参加者	<p>バンコク都排水・下水局副局长 ディスワン・カンワン氏</p> <p>バンコク都排水・下水局 プロジェクト管理係長 ソンブーン・ピチャイ氏</p> <p>ソウル市消防災難本部江南区消防署 救助・救急医療チームリーダー ホン ジンヘ氏</p>
6 研修概要・ 研修の様子（写真など）	<ul style="list-style-type: none"> 参加者によるプレゼンテーション 東京都の洪水・高潮・津波対策についての講義 視察（蔵前ポンプ所、目黒川荏原調節池、水門管理センター、高潮対策センター など） 総括プレゼンテーション及びディスカッション <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>目黒川荏原調節池</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水門管理センター</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>高潮対策センター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>総括ディスカッション</p> </div> </div>
7 成果	<p>今回の研修では、東京都建設局、港湾局、下水道局 3 局による講義、都内主要施設の視察を通じ、東京の治水施策を網羅的に学べるプログラムを実施した。</p> <p>講義・視察は、都とそれぞれの都市の水害被害の特色や課題を適宜比較しながら進められた。</p> <p>目黒川荏原調節池や神田川・環状 7 号線地下調節池の視察では、都市における水害対策という視点で様々な質疑応答が行われた。アジアの都市には、地下式の貯留施設の設置が進んでいる都市が少ないため、その発想自体への驚きと同時に、都市型の水害被害軽減には非常に有効な手段である</p>

という議論がなされた。また、バンコクでは都市化が急激に進んでいることから、貯留施設用の土地の確保という側面においても、地下式の施設は有効であり、導入に向けた検討をしていきたいとの発言も見られた。

水門管理センターや高潮対策センター等、東京の低地帯における治水対策についての視察では、アジアには地形的な特徴が非常に似通っている都市も多いことから、参加者は自都市の状況と見比べながら熱心に視察を行った。排水方法や水門の開閉方法に至るまで、各都市に還元できる知識やノウハウの習得に有効なプログラムとなった。

研修全般を通じ、参加者は都の担当者と繰り返し積極的な議論を行った。これにより、参加者の疑問が逐次解消されただけでなく理解がさらに深められ、研修実施後に行ったアンケートでも総じて非常に有意義であったとの回答が得られた。